

野菜（果菜、葉菜、根菜）、果樹、花卉


「振り売り」を通して地域のコミュニティを活性化

少量多品目、伝統野菜、直売、加工、農業体験・市民農園、農福

渡邊氏が野菜やぶどうを生産している山科区の農地は、山の麓の階段状の土地の中にあるが、渡邊氏の農地の周辺では戸建て住宅が数多く建っている。



経営面積

経営する農地面積： 2.2 ha
 うち市街化区域内： 94 a
 （生産緑地： 94 a）

従業員数

家族： 3人
 正規雇用： 1人

売上高

～1000万円 1000万円～3000万円 3000万円～

栽培品目別内訳

露地 (1.9ha)	施設 (15a)	その他 (30a)
ブドウ (35a) 野菜 (約30種類) (1ha) 米 (57a)	トマト ホウレンソウ その他野菜5種類	タケノコ



取組の特徴を教えてください

- ◆ 農作物を軽トラに乗せて市内の個々の家に売り回る「振り売り」という伝統的な販売を行っています。
 京都市民は旬のものを食べることを大切にしているため、春：たけのこ→エンドウ、夏：トマトを中心とした夏野菜→ブドウ、秋冬：葉物を中心とした秋冬野菜、と旬の農産物を週2日、計200名ぐらいのお宅に販売しています。事前に注文を受けた場合は米の販売も行っています。
- ◆ ブドウは、振り売りのほかに、作業所を期間限定の直売所にして、直接販売も行っています。
- ◆ 振り売りと直売の売上は、全体の約7割を占めています。
- ◆ また仲間の農業者7人とチームを結成し、地元スーパー2軒に農産物を年間を通じて出荷しています。
- ◆ 新たな取組として、保育園の保護者の方に都市農業の応援団になってもらうため、園児の迎えの時間に合わせて、保育園で野菜の販売会を行っています。





取組のきっかけを教えてください

- ◆ 就農した当時は、市場出荷も行っていましたが、一人一人の顧客と直接コミュニケーションを図りながら、旬の美味しい農産物を届けることができる振り売りに魅力を感じ、15年前に振り売り専門に切り替えました。
- ◆ 振り売り専門となった当時は、一から顧客を開拓し、紹介をいただきながら顧客の拡大を図ってきました。



取組の成功の秘訣を教えてください

- ◆ 振り売りは、いかに顧客との信頼関係を築くことができるかが大切です。

このため、積極的にコミュニケーションを図ることを心がけています。時には野菜に関する話題で盛り上がり、野菜の美味しい食べ方などの情報を紹介いただき、次の売り先での話題の提供に一役買っています。

このように振り売りを通じて、それぞれの売り先で話題が広がり、地域のコミュニティの活性化に繋がっています。



- ◆ 振り売りは、顔が見える究極の販売方法です。野菜を生産した農業者の人となりや顧客が直接見て感じることが出来るため、農業者を信用してファンになっていただいていると思っています。この信頼関係から、新たな顧客の紹介につながっています。
- ◆ 地元スーパーへの出荷は、仲間の農業者7名でグループを結成し、農産物が途切れないよう互いに情報交換しながら補い合い、年間を通して安定的に出荷しています。
- ◆ 保育園での販売会は、実質的な決定権は保護者会にあるため、保育園だけではなく、保護者会とも関係が構築できるように取り組んでいます。



ご苦労されたことがあれば教えてください

- ◆ 顧客からの要望を受けて新たな野菜を生産しましたが、想定していたより売れないこともあり、他の顧客にもニーズがあるのか見極めることも重要です。
- ◆ 直接販売では、常に商品が途切れないように収穫時期をずらして栽培していますが、天候次第で一斉に収穫時期を迎えてしまうことがあり、ロスになることもあります。



取組をしたいと考えている方に一言お願いします

- ◆ 地域には独自の歴史や風土があるため、その地盤を一から変えるのではなく、特色を活かす形で新しい取組を行うことが大切です。
- ◆ 人と人とのつながりを作ることが大事です。顧客との関係でも、行政、JAとの関係でも同様です。これらのコミュニティが活性化することで、取組が広がり、自ずと所得にもつながっていくのではないかと考えています。

野菜（果菜、葉菜、根菜）、果樹、花卉



花で彩りあるまちづくりを目指して

少量多品目、伝統野菜、直売、加工、農業体験・市民農園、農福

金田氏の農地は、私鉄駅から約300mのところであり、周辺は区役所や図書館などの公共施設や住宅、アパート等が密集している地域である。



経営面積

経営する農地面積 : 62a
 うち市街化区域内 : 18a
 (生産緑地 : 18a)

従業員数

家族 : 2人
 非正規雇用 : 3人 (パート雇用)

売上高

~1000万円 1000万円~3000万円 3000万円~

栽培別内訳

露地	施設	その他
葉ボタン、ノースポール (16a) 米 (10a)	パンジー、ビオラ (46a) シクラメンほか約40種類	



取組の特徴を教えてください

- ◆ 花壇やプランター等に植える苗花を生産し、年間で約38万鉢を出荷しています。
 パンジーやビオラなどを中心に、花、葉の色彩や形状も、定番のものから珍しいもの、最新のものまで、年間約40種類もの苗花を生産していることが特徴の一つです。
- ◆ 現在は、約6割が市場出荷で、他は造園関係の業者やJAの直売所などに出荷しています。
 以前は、市場出荷が9割を占めていましたが、徐々に契約栽培の割合を増やしており、契約栽培による販路の拡大を図っています。
- ◆ 毎年6月頃に地元の職場を学ぶ授業の一環として、地元中学校の生徒を職業体験として受け入れています。
- ◆ 花に触れることによって、心が落ち着いたり、安らぐ効果があるとされており、園芸セラピーとして、介護施設の利用者向けに花の寄せ植えができるキットの普及を進めています。





取組のきっかけを教えてください

- ◆ 軟弱野菜を代々生産していましたが、父の代に大阪市鶴見緑地で国際花と緑の博覧会が開催される際に、市から花の生産の要請を受けたことが苗花を始めたきっかけです。
- ◆ 以前は造園関係業者向けに多量少品種の生産をしていましたが、大型施設の花壇等の需要が減ってきたため、品種を増やしています。



取組の成功の秘訣を教えてください

- ◆ クオリティが高い苗花を生産するために、土には強いこだわりがあります。品種毎に土の構成比や肥料の配合量の研究を重ね、最適の配合の苗土を提供するよう努めています。消費者からは、根張りがよく花が長い間咲き続けてくれると好評をいただいています。

- ◆ 消費者は、圧倒的に女性が多いため、生産する花の品種や生産量の割合は、パートの意見を取り入れるようにしています。自分がきれいだと思った花でも、女性目線では異なる場合もあり、また、その逆もあり、女性の意見は経営上重要な役割を持っています。

出荷するトレーの苗の配置（配色）も購買意欲の向上に欠かせないため、パートによる配置はとても重要であり、新しい品種を取り入れるときも貴重な意見をいただいています。

- ◆ 苗花の栽培には、可動式のベンチを採用しており、体への負担も軽減され、効率的に作業ができ、浸水被害も避けることができます。



ご苦労されたことがあれば教えてください

- ◆ こだわりの土づくりですが、最適な配分を調整するまでが大変です。今でも、試行錯誤を繰り返しています。
- ◆ プラグ苗からポットに植え替えるときに菌が入ると、その後の成長に大きく影響を及ぼすため、慎重に管理しています。また、苗花は生き物のため、ニーズの高い時期に出荷できないことがあります。常に最適な時期に出荷できるようタイミングを調整しています。



取組をしたいと考えている方に一言お願いします

- ◆ 苗花生産は、公園などの空間に彩りある環境をつくることのできる、やりがいのある仕事です。
- ◆ 苗花の生産者は減少しています。都市に生産現場があるというメリットを活かし、花の摘取り園など新しい取組も考えていますので、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう。

野菜（果菜、葉菜、根菜）、果樹、花卉


なにわの伝統野菜を守り、地域の食文化を未来へ

少量多品目、伝統野菜、直売、加工、農業体験・市民農園、農福

西野氏の農地は、大阪市東住吉区の長居公園付近に位置し、周囲はマンションやアパート、病院、小中学校など都市化が進んだ地域にある。



経営面積

経営する農地面積：60a

うち市街化区域内：60a

(生産緑地：60a)

従業員数

家族：3人

非正規雇用：3人（パート雇用）

売上高

～1000万円

1000万円～
3000万円

3000万円～

栽培別内訳

露地 (25a)	伝統野菜（しろな等4種類） 他約40種類	施設 (35a)	きくな、トマト	その他



取組の特徴を教えてください

- ◆ 夏場はトマトを中心とした夏野菜を、冬場はきくなを中心に、なにわの伝統野菜である大阪しろなや田辺大根、天王寺かぶら等を栽培しています。

なにわの伝統野菜は、生産が難しく、天王寺かぶらは、本体の9割近くが地上に露出するため、強風の影響を受け倒れやすく、病気にも強くないため、品質を維持することが難しいですが、甘くて食感も良い美味しいかぶらです。

- ◆ 冬場はきくなを中心に8割は市場へ出荷し、他は八百屋を通じた料亭等への出荷や、スーパーや生協への直接出荷、農園前での直接販売をしています。

八百屋は、注文があった量を収穫して、集荷場に準備しておけば、直接引き取りに来てもらう仕組みにしています。

また、農園前での直売は、農作業の時間に近隣の住民に声をかけていただく仕組みですが、対面販売に抵抗がある住民の方のために自動販売機も設置しています。

- ◆ 収穫体験も受け入れ、近隣の保育園の大根抜き体験では、ずんぐりむっくりした地元の田辺大根を抜いてもらっています。園児でも折らずに抜くことができ、地元野菜への愛着を高めることにもつながっています。





取組のきっかけを教えてください

- ◆ 先祖代々、この地で農業を営んでおり、確認できるだけでも自分で6代目になります。
「地域の食文化を守るため、なにわの伝統野菜を途絶えさせてはいけない」という強い思いで生産しています。



取組の成功の秘訣を教えてください

- ◆ 消費者のニーズに応えた品質の良い野菜を生産することにこだわっています。

きくなは、他のきくなに比べ、傷みにくく棚持ちが良いとの評価をいただいています。見た目にも優れ、収穫の作業性が高い品種を自家採種により選抜してきました。

キャベツも、現在主流の品種ではなく、寒さから葉がポリフェノールにより赤くなり、見た目で市場価値は低くなりますが、甘く、お好み焼きの食材としてニーズの高い品種を栽培しています。

伝統野菜も、自家採種を行っています。他の品種の花粉を受粉することにより、異なる形質が出やすい野菜もあるため、採種には気を遣っています。

- ◆ 自動販売機で販売する際には、葉物野菜など、見た目で違いが分かりにくい品種もあるため、野菜を入れるスペース毎に野菜の名称を記載しています。

サツマイモも具体的な品種名を記載して、調理の参考にしていただくよう配慮しています。



ご苦労されたことがあれば教えてください

- ◆ 近隣が住宅に囲まれているという立地上、騒音や土埃などに対する近隣住民への対応が必要となります。このため、近隣の住民の方とよくコミュニケーションを図り、更に知り合った住民の方を通じて、他の住民の方へも理解が深まるよう取り組んでいます。



取組をしたいと考えている方に一言お願いします

- ◆ 伝統野菜などの在来種は、病気に強いなど栽培しやすい品種に置き換わり、姿を消しつつありました。近年、食に対する意識の変化などから脚光を浴びつつありますが、まだまだ生産量は少ないのが現実です。

在来種を守ることは、地域に代々伝わってきた食文化を守ることにつながります。地域の食文化を未来に残していくことは、農家にしかできないやりがいがあることであり、ぜひ一緒にチャレンジしませんか。

野菜（果菜、葉菜、根菜）、果樹、花卉



伝統を守りつつ、新技術を取り入れた「カッコいい」農業

少量多品目、伝統野菜、直売、加工、農業体験・市民農園、農福

三浦氏の農園は、私鉄駅から約600mに位置し、周辺は住宅や工場、飲食店等が混在する中に、農地が点在する地域にある。



経営面積

経営する農地面積：2ha
うち市街化区域内：90a
(生産緑地：60a)

従業員数

家族：5人
正規雇用：1人
非正規雇用：3人（パート）

売上高

~1000万円	1000万円~ 3000万円	3000万円~
---------	-------------------	---------

栽培別内訳

露地 (1.5ha)	伝統野菜（泉州黄玉葱、松波キャベツ）他7種類	施設 (50a)	伝統野菜（水ナス）	その他	漬物（水ナス漬け）
	米（50a）		春菊、水菜、みぶ菜		



取組の特徴を教えてください

- ◆ 最先端の技術を取り入れつつ、地域ブランドの水なすを主体に、伝統野菜を家族全員で生産しています。水なすは市場の評価も高く、安定した価格で販売しています。
直売は手間がかかり、大きなロットの販売は困難であるため、市場出荷が9割を占め、主に水ナス漬けの材料として漬物屋に引き取られています。
1割は、ミシュランの星獲得レストランや料亭、ホテル等で利用されているほか、当農園で「水なすぬか漬け」に加工し、主に百貨店や雑貨店の食品コーナーで販売しています。
- ◆ 米は食用以外に、ぬか漬けのための「ぬか」や堆肥への活用も兼ねて栽培しています。
- ◆ 伝統野菜の泉州黄玉葱や松波キャベツ、ケールなどの珍しい野菜も、農薬や化学肥料を最小限に抑え栽培しています。
- ◆ 市場や直売所以外の出荷では、スーパーとの直接契約があり、週2回集荷にきていただいています。この際、取引先の目に留まるよう道路沿いに珍しい野菜を栽培し、新たな取引の拡大につなげています。





取組のきっかけを教えてください

- ◆ 水なすは、3代前から生産を始め、自分が責任をもって栽培するようになってからは、商品の付加価値を高めるため、最先端の技術の導入など様々な栽培方法を取り入れています。



取組の成功の秘訣を教えてください

- ◆ 取り入れた以下の新しい技術により、労力を抑えつつ、農薬の使用量も軽減しながら、品質の高い野菜を栽培することができるようになっています。

- ・ 天敵昆虫のスワルスキーカブリダニなどを利用した生物防除
- ・ 赤色LEDによる害虫の防除
- ・ 漢方や微生物などの自然由来の素材を活用した減農薬
- ・ スマートフォンを活用した気温、湿度、CO₂濃度、土壌水分量等の情報管理

- ◆ 水なすは、代々自家採種して受け継いだ種で栽培しており、皮が薄く柔らかく、みずみずしいのが特徴です。

その特徴を味わっていただくため、余計な食品添加物を使わない「無添加の米ぬか床」に漬け込んだ水なすぬか漬は、人気も高くふるさと納税の返礼品では好評でした。

- ◆ なにわの伝統野菜「泉州黄玉葱」の一つ、「今井早生」も自家採種した種で栽培しており、府内で栽培している数少ない農園の一つです。超極早生品種の玉ねぎは甘みがとてもあり、生で食べることもでき、葉も合わせてすき焼きなどで食べていただきたいです。松波キャベツもとても甘く、お好み焼きの材料として最適です。直売所には大阪市から買いに来ていただいているようです。

- ◆ このように、人・作物・環境にやさしい農業を実践し、子供が安心して食べられるような野菜づくりの取組により、大阪府の「エコ農産物」の認証を取得しました。



ご苦労されたことがあれば教えてください

- ◆ 昨年、ふるさと納税の返礼品として、大量に水なす漬けの注文を受け、作業が深夜に及ぶなど精神的、体力的に厳しい事態になったため、注文を受ける際には、無理のない許容できる範囲で受けることとしています。

- ◆ これまで住んでいる住民の方から苦情はないのですが、周辺が新たに宅地化されると、新たに入居された方から騒音などの苦情等があるため、農作業には配慮しています。



取組をしたいと考えている方に一言お願いします

- ◆ 若い方に面白い、カッコいいと思ってもらえる農業のスタイルを意識して、様々な技術を積極的に取り入れています。
- ◆ 自動灌水は、労力の削減や品質の向上に大きく繋がるため、取り入れるべき技術だと思います。